

平成29年3月27日

豊川市議会議長 太田 直人 様

市民文教委員長 平松 八郎

### 市民文教委員会所管事務調査報告書

本委員会の所管事務についての調査結果を報告いたします。

#### 1 調査項目

##### (1) 町内会活動の活性化と町内会加入促進について

本市では、核家族化や少子高齢化の進行などに伴い、町内会の加入率が年々減少傾向にあるため、町内会の加入促進の取り組みが重要事項と考え、調査を行いました。

##### (2) 総合型地域スポーツクラブについて

本市では、総合型地域スポーツクラブへの支援をしていますが、クラブの会員数が少ないことから、今後、さらなる総合型地域スポーツクラブ設立、会員数の増加、利用促進の取り組みが重要事項と考え、調査を行いました。

##### (3) 学力向上の取り組みについて

本市では、学力充実プラン推進事業及び個別指導員、学級運営支援員の配置などの取り組みがされているものの、学習状況調査結果によると今一歩であるため、学校教育の取り組みが重要事項と考え、調査を行いました。

#### 2 調査内容

別紙<調査経過>のとおり、先進都市の視察内容を踏まえて委員間での意見交換を行いました。

#### 3 調査結果

##### (1) 町内会活動の活性化と町内会加入促進について

###### ①本市の現状

本市における町内会の加入率は、合併により一時的に増加したものの、

その後減少傾向にあります。問題点は、集合住宅入居者や単身世帯に加え、定住化・永住化の傾向にある外国人世帯に町内会未加入者が増えていることと、町内会役員の高齢化となり手不足が顕在化しています。

そして、高齢者の単身世帯が増加傾向にあり、町内会未加入者にあつては地域との関わりが希薄で、地域における見守り体制にも影響が生じています。

本市における町内会加入促進に関する取り組みとしては、加入促進パンフレット、同クリアファイル、加入届の作成と配布、啓発物品の作成及び配布、加入促進マニュアルの作成、町内会に関するアンケート調査を行っています。また、町内会加入促進に関する相互協定（三者協定）では、豊川市連区長会と豊川市が、公益社団法人愛知県宅地建物取引業協会東三河支部及びひまわり農業協同組合と、それぞれ町内会への加入促進に関する協定書を締結し、協力関係を構築しています。

このように町内会加入促進に関する取り組みをしているところですが、課題も多い状況にあります。

## ②先進都市への状況（青森県八戸市）

八戸市は、町内会の加入率の低下や役員のなり手不足、活動参加者の不足や若い年齢層における関心の薄さなど、様々な問題を抱えています。

これらの課題は各町内会に共通するものも多いため、加入促進など全市的に課題解決に取り組む連合組織の必要性から、八戸市連合町内会協議会が組織化されています。

### 【地域と市の協働による取り組み】

- ・町内会に関するアンケート調査の実施・分析
- ・職場・工場などでワークショップを開催
- ・町内会加入促進ガイドブックの作成
- ・町内会加入案内チラシづくり

### 【行政主体の取り組み】

- ・不動産関係業者へ町内会加入呼びかけの協力依頼
- ・「広報はちのへ」を活用した町内会の紹介
- ・市職員への町内会加入推奨
- ・テレビ広報での町内会特集放映
- ・転入・転居者に対する市民課窓口での町内会加入促進チラシの配布
- ・市営住宅の新規入居者説明での町内会加入促進チラシの配布

### ③総評

少子高齢化に伴い、町内会の弱体化が懸念される中、町内会活動に無関心な人や、町内会に加入しない人が増えている現状に対し、町内会加入の必要性やメリットを理解してもらうため、地域の実態に合った独自の手法や積極的な働きかけによる町内会への加入促進が重要であると感じました。また、行政は、地域の団体や企業、町内会と協働して町内会の運営や活動等の取り組みにより、住みよいまちづくりを目指していただきたいと思いました。

## (2) 総合型地域スポーツクラブについて

### ①本市の現状

本市では、音羽スポーツクラブ、わすぼ一宮、こざかいスポーツクラブの3つの総合型スポーツクラブが活動しています。しかし、クラブ数、会員数が少ないことから、スポーツ課を事務局とする設立準備委員会を立ち上げ、運営方法を検討し、クラブ設立までの活動を支援し、設立後もクラブの自立に向けて運営を支援しています。

### ②先進都市の状況（秋田県湯沢市）

湯沢市スポーツ推進計画においては、総合型地域スポーツクラブが住民の主体的な参画と生涯を通じたスポーツ活動の基盤となり得るものとして、安定的かつ継続的に運営され、地域スポーツの担い手としての重要な役割を果たしていけるよう、それぞれの実情に応じたきめ細やかな支援により育成していくことを掲げており、市単独の補助金を継続して交付しています。

現状では、クラブ事業としてのスポーツ大会や定期的な教室の開催、会員の健康・体力増進を目的とした事業や地域づくりに資する活動の展開など地域の特色を生かした独自の企画や事業の拡充が図られています。

### ③総評

湯沢市は、山形県、宮城県に隣接する秋田県の最南東部に位置し、気候は内陸性で寒暖の差が激しく、冬期の最大積雪量は市街地で1メートル、山間地域では2メートルに達し、積雪期間は年間100日以上におよぶ豪雪地帯です。

現地視察した稲川交流スポーツエリア（総合型地域スポーツクラブは指定管理）は屋内運動場1,342平方メートル（スーパーサンド舗装）の他、屋外テニスコート4面（ナイター照明、人工芝）、屋外ゲートボー

ルコート2面、ストリートバスケットコート1面、壁打ちテニスコート1面の施設があり、雨天や積雪の時期でもテニスやゲートボール、野球の練習もできる広いスペースに感心しました。

湯沢市は豪雪地帯であり、冬の時期でのスポーツは不可能と思いましたが、このような施設があり、利用度も高いことに驚きました。

### (3) 学力向上の取り組みについて

#### ①本市の現状

本市においては、全国学力・学習状況調査結果を市全体で捉えていますが、全国平均と比べ、全体的に下位方向にシフトした形になっていません。また、どの学校にも基礎学力に不安のある生徒がいるとのことで、学力向上の取り組みを行っています。実施内容は基礎基本の定着、わかる授業の2本柱として、各学校で自校の取り組むべき課題に合った手立てを考えて実践しています。

#### ②先進都市の状況（秋田県大仙市）

大仙市は、教育目標を「生きる力を育み、社会を支える創造力あふれる人づくり」とし、教育大綱は「ふるさと大好き」元気に探究する子ども、生きる力としての総合的な学力を育む学校教育の推進、また、大仙市が目指す「総合的な学力」教科等の学習指導はもちろん、キャリア教育を一層推進するため、ふるさと教養、食育、防災教育、総合的な学習の時間等教科横断的な教育活動を通し、地域活性化に寄与できる子どもの育成を目指しています。

#### ③総評

大仙市の具体的な学力向上の取り組みとしては、授業の最初5分程度を利用して、子どもの疑問や気づきを生かした「めあて」の提示、授業の最後には、学んだことを実感し次の学びへの意欲を喚起する振り返りなど、児童生徒主体の授業づくりを行っています。また、学習習慣を確立するため、小学1年生から自分で学習計画を立て、親や教師がコメントをする「一人勉強ノート」を作成していました。大変素晴らしい取り組み内容でありました。

## 4 市民文教委員会からの提言

### (1) 町内会活動の活性化と町内会加入促進について

八戸市内の各町内会では、加入率の低下や役員のなり手不足、活動参

加者の不足や若い年齢層における関心の薄さなど様々な問題を抱えていたことから全市的に課題解決に取り組む必要性から組織化に至り、八戸市連合町内会連絡協議会を立ち上げて、町内会加入促進事業を行っています。具体例として、「戸別訪問加入」「バス車体に町内会加入啓発マグネットシートの掲出」「町内会加入受付臨時窓口の設置」などは、大変よい取り組みであると思われました。

本市においても、参考にされて町内会加入促進に努めていただきたいと思います。

### (2) 総合型地域スポーツクラブについて

湯沢市は雪国で本市とは環境が異なりますが、地域の特色を生かした独自の企画や事業の拡充が図られており、広く地域住民が主体的に取り組んでいると思われました。

本市においても、世代間、または地域間の交流や様々なスポーツ活動を実践する場として充実させ、クラブ間のネットワークの構築など組織体制の拡充を目指していただきたいと思います。

### (3) 学力向上の取り組みについて

大仙市では、独自の授業作りをしており、児童生徒の学力は全ての教科で全国平均を大きく上回っているとのことでした。小学1年生から学習習慣を確立するための「一人勉強ノート」の取り組みにより、「勉強は家で行う」という意識づけが生まれ、非常によい効果をもたらしているとのことでした。

本市においても、特色ある教育活動の充実に努めていただきたいと思います。

## 別紙

### <調査経過>

平成28年6月3日（金）

打ち合わせ 「調査事項、視察項目の決定」

平成28年7月27日（水）～29日（金）

視察の実施

27日 青森県八戸市 「町内会活動の活性化と町内会加入促進について」

28日 秋田県湯沢市 「総合型地域スポーツクラブについて」

29日 秋田県大仙市 「学力向上の取り組みについて」